

社会資本総合整備計画

たけはらしまち かんきょうせいびけいかく
竹原市街なみ環境整備計画

ひろしまけん たけはらし
広島県 竹原市

令和5年1月

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和5年1月31日

計画の名称	竹原市街並み環境整備計画										重点配分対象の該当														
計画の期間	令和5年度 ～ 令和9年度（5年間）					交付対象	竹原市																		
計画の目標																									
竹原町歴史的風致維持向上地区街なみ環境整備計画（第2期）において修理に着手した歴史的風致形成建造物「旧森川家住宅」の修理を継続するとともに、各景観形成重点地区において竹原市景観計画に基づく民間施設の修景等の補助を実施することにより、今日まで引き継がれてきた文化の継承と歴史的な町並みの保全を図りつつ、竹原らしい魅力ある町並みの整備を促進することを目標とする。																									
計画の成果目標（定量的指標）																									
・町並み保存地区における入込観光客数を約15.7万人/年（R4）から約17.7万人/年（R9）に増加 ・町並み保存地区及び周辺の文化4施設の入館者数を約1.3万人/年（R4）から約1.6万人/年（R9）に増加																									
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考													
観光統計調査から町並み保存地区の入込観光客数を算出する。 町並み保存地区及び周辺の文化4施設（旧松阪家住宅、旧森川家住宅、歴史民俗資料館、旧光本家住宅）の入館者数を計測する。				当初現況値 （R4当初）		中間目標値		最終目標値 （R9末）																	
				15.7人/年				17.7万人/年																	
				1.3万人/年				1.6万人/年																	
全体事業費		合計 （A＋B＋C＋D）		41百万円		A		41百万円		B				C				D				効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）		0.0%	
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
A-1	住宅	一般	竹原市	直接	竹原市	竹原市街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物の保存修理	竹原市	R5	R6	R7	R8	R9	32											
A-2	住宅	一般	竹原市	間接	竹原市	竹原市街なみ環境整備事業	民間施設の修景補助	竹原市						9											
合計														41											
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H30	H31	H32	H33	H34												
合計														0											
C 効果促進事業（該当なし）																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考										
									H30	H31	H32	H33	H34												
合計														0											
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考											

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H30	H31	H32	H33	H34		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

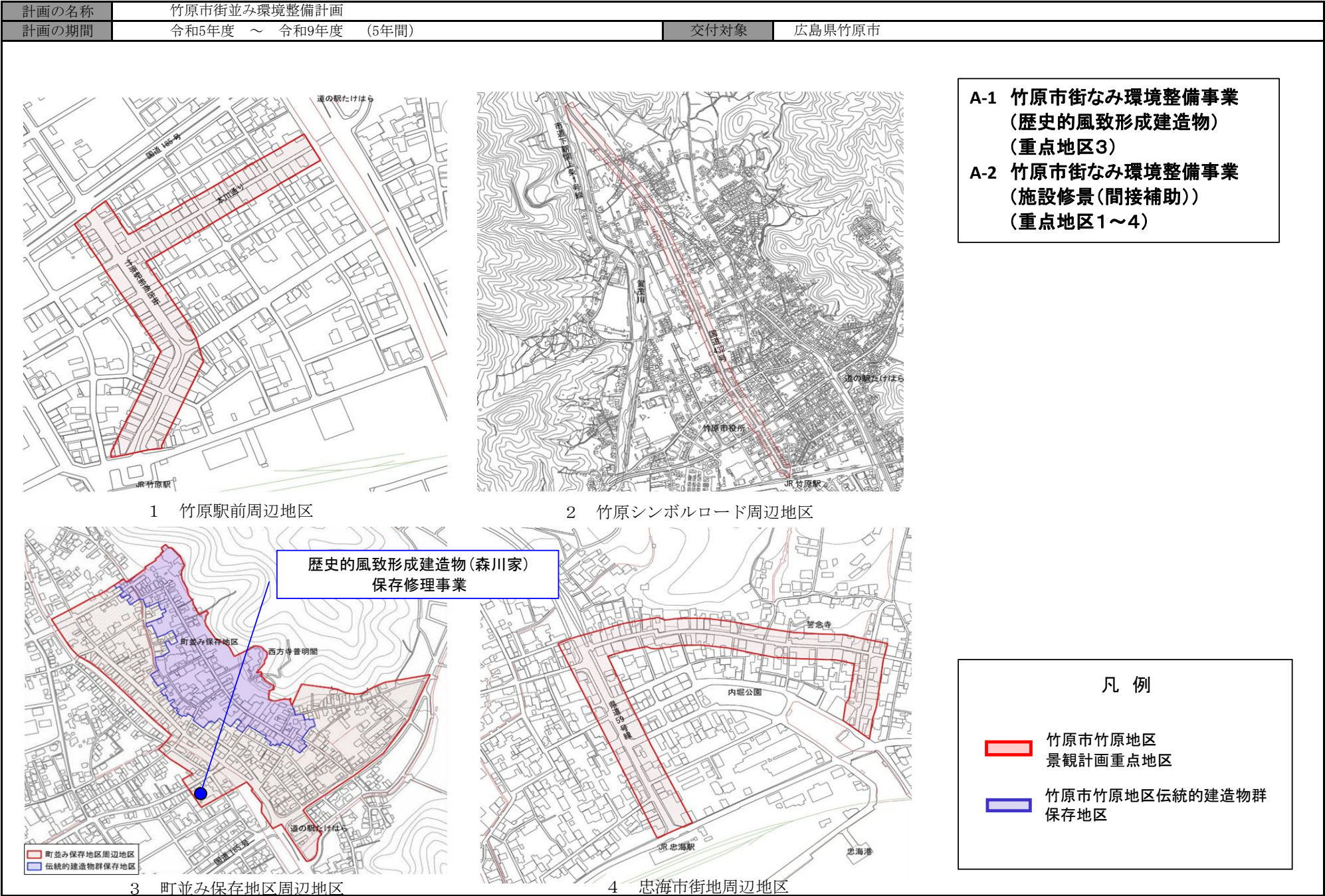
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R5	R6	R7	R8	R9
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 令和5年度以降の各年度の決算額を記載。

(図面) 社会資本総合整備計画（地域住宅支援）



街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	広島県	市町村名	竹原市	区域名	竹原市景観計画区域
区域 現 況	区域の概況		本整備計画では、竹原市景観計画において設定された景観形成重点地区である「竹原駅前周辺地区」、「竹原シンボルロード周辺地区」、「町並み保存地区周辺地区」、「忠海市街地周辺地区」を事業区域とする。各地区の概況は次のとおり。 竹原駅周辺地区・・・竹原駅前商店街を中心とした区域であり、町並み保存地区周辺地区への主要ルートとなる。昭和7年に竹原塩田の一部を埋め立てて建設された旧国鉄竹原駅（現JR竹原駅）を中心に形成された市街地であり、昭和時代以来本市の経済の中心となったが、近年は空き店舗等の増加が連続性のある景観の阻害要因となっている。 竹原シンボルロード周辺地区・・・市内を縦貫する国道432号及び県道竹原港線の沿道を区域とし、南限はJR竹原駅、北限は市道下新開上条1号線である。竹原市街地の玄関口及び中心市街地を走る主要道路であり、沿道の景観整備によりシンボルロード沿道の魅力と活力の工場を図ることとしている。 町並み保存地区周辺地区・・・昭和57年に国重要伝統的保存地区の選定を受けた竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区を中心に、南側～西側の周辺市街地を含む区域である。保存地区では、昭和57年の重伝建選定以降、修理・修景事業に対する助成金を交付し、歴史的な町並みの保存を行ってきた。また、本区域は平成24年に認定を受けた「竹原市歴史的風致維持向上計画」の重点地区に含まれ、平成25年度からは「竹原町歴史的風致維持向上地区社会資本総合整備計画（第1期）（第2期）」による小公園の整備や歴史的風致形成建造物の修理等により、町並み保存地区周辺における歴史的な景観の維持・向上に取り組んできた。近年では、高齢化による空き家の増加が課題となる一方、地区外からの移住者による空き家の活用も増加傾向にあるなど、住民の世代交代が進んでいるほか、市が所有する歴史的建造物の民間活用等の取り組みを行っている。 忠海市街地周辺地区・・・県道東広島本郷忠海線及び忠海の旧市街地を区域とする。忠海は竹原と並び江戸時代から北前船寄港地として栄えた港町であり、旧市街地には近世以降の町屋や寺社仏閣が点在し、毎年7月には広島県無形民俗文化財である「忠海の祇園祭みこし行事」が行われるなど、歴史あるまちなみと人々の生活が融合した景観が特徴である。近年は、「うさぎの島」として知られる大久野島を目指す観光客が多く訪れており、忠海地区に特有の生活と伝統が融合した魅力的な景観の保存・創出に取り組んでいる。		
	道路の現況		竹原駅前周辺地区・・・竹原駅前商店街の道路を、歩道は赤レンガ風、車道は六角形のインターロッキングブロックによる景観舗装で整備している。 竹原シンボルロード地区・・・一般国道432号及び県道竹原港線の沿線であり、市の木である「竹」の街路樹や歩道を黒煉瓦による景観舗装とするなど、竹原らしい景観の形成を推進している。 町並み保存地区周辺地区・・・保存地区周辺の道路は、従来の幅員を保ち当時の地割に沿った形となっていることから、4mに満たない道路も存在し、折れ曲がった形が特徴である。地区内の街路は、石畳・レンガによりゾーン分けされた景観舗装で整備され、また側溝蓋についても擬木の素材を使用することにより、歴史的景観を形成している。 忠海市街地周辺地区・・・地区内を走る県道東広島本郷忠海線は、今後忠海駅前までの拡幅整備が計画されている。旧市街地周辺の道路は、かぎ状に曲がった道路形状などに歴史的な景観をとどめている。		
	公園等の現況		主要道路の沿線や観光ルート内に小公園や広場が整備され、住民や来訪者のふれあいと安らぎの場が創出されている。町並み保存地区周辺地区では、旧森川家住宅の隣地に、調和のとれた小公園が整備され、歴史的な景観・眺望が形成されている。		
	地区住民のまちづくり活動の概要		町並み保存地区周辺区域においては、地元住民で歴史的な景観を守るべく、昭和57年に竹原町並保存会を結成し、保存活動を展開している。具体的には、消火器の設置や火災警報器の設置補助に加え、毎年防災訓練を実施している。また、住民は景観向上のために、市の制度を活用し、ガスボンベ・エアコン・ポストなど景観を阻害するものに、木枠で囲む取組も行っている。さらには、住民が自主的に観光客に道案内をしたり、格子に花の一輪挿しを飾るなど、来訪者におもてなしの気持ちを表している。		

区域の整備に関する基本計画	整備の目標		それぞれの景観重点地区において、景観計画に基づき民間施設の修景等に対して補助を行うことにより、各地区の特性に応じた良好な景観形成を促進し、竹原らしい魅力あふれる景観を維持・整備することを目標としている。 また、町並み保存地区周辺地区においては、先行する整備計画により着手し歴史的風致形成建造物の修理を継続して実施することにより歴史的な景観の整備を行い、さらなる魅力向上を行うことを目標とする。
	整備の時期		令和5年～令和9年
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	
		小公園等	
		その他	先行する整備計画である「竹原町歴史的風致維持向上地区社会資本整備総合計画(第2期)」において着手した旧森川家住宅の保存修理事業を継承し、大正時代に竹原塩田の一部を埋め立てて建設された近代和風建築であり、歴史的な景観を形成する重要な建造物でもある旧森川家住宅の保存修理を進めることで、竹原らしい景観の維持し、町並みの魅力を増進させる。
	住宅等の整備に関する基本事項	住宅	伝統的建造物群保存地区では文化財保護法と同法に基づいた竹原市伝統的建造物群保存地区保存条例により、価値ある歴史的な町並みを良好な状態で保存していく保存計画を定め、修理修景に努めるとともに、建物の新築、増改築、除去等や建物の修繕や色彩の変更等の外観変更など、現状変更行為に対して規制を行っているほか、竹原市歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致形成建造物の保存修理を推進している。 また、それぞれの景観重点地区では民間施設の修景や屋外広告物の撤去等を助成し、竹原らしい魅力あふれる景観の形成を推進する。
		敷地	連続性のある町並みを維持するために、更地には、塀を整備するなどの取組と住民への働きかけを実施
	その他の事項		市所有の歴史的建造物を保存・活用するために、民間事業者のノウハウ・資金を活用の可能性を検討し、観光資源としての魅力を増進し、区域のにぎわい創出へつなげるものとする。

竹原地区 街なみ環境整備事業

位置図



竹原地区 街なみ環境整備事業

区域図・整備方針図



1 竹原駅前周辺地区



2 竹原シンボルロード周辺地区



3 町並み保存地区周辺地区



4 忠海市街地周辺地区

施設修景（間接補助）
（重点地区 1～4）

凡 例

- 竹原市竹原地区
景観計画重点地区
- 竹原市竹原地区伝統的建造物
群保存地区